

T.Rowe Price

ティー・ロウ・プライス キャピタル・ アプリシエーション・ファンド

Aコース(為替ヘッジあり) / Bコース(為替ヘッジなし)

追加型投信 / 海外 / 資産複合

Capital Appreciation Fund



プラザ合意翌年の1986年
世界経済の枠組みが大きく変化する時代に、
一つの戦略が誕生しました。

“キャピタル・ アプリケーション(投資元本の成長) 運用戦略

「長期にわたる経済成長の果実は享受したいが、
資産の毀損や短期的な価格変動は抑えたい」

米国で確定拠出年金(DC)制度が浸透するなか、
高まっていた長期安定運用ニーズに応えるべく、
株式・債券を中心に投資を行う

「オートパイロット(自動操縦)型ファンド^{*1}」の先駆けとして、
運用を開始しました。





キャピタル・アプリシエーション運用戦略(以下「当運用戦略」)は、1986年の設定以来、独自の投資哲学と優れた運用実績により、様々な賞を受賞してきました。

多くの米国投資家の支持を受け、運用資産残高は約14兆円^{*2}にまで拡大。

投資効率を維持するため、10年以上にわたり新たな投資の受付を停止していたティール・ロウ・プライスを代表する運用戦略がついに日本に上陸します。

*1 オートパイロット型ファンドとは、株式と債券のバランス運用に資産配分調整機能を備えたファンドのことをいいます。ファンドの投資家は市場環境やリスク許容度などに応じて自ら資産配分変更を行う必要がなく、ファンドが代わって自動でリスク調整や資産配分調整を行うスタイルのファンドのことです。

*2 2025年6月末時点、1米ドル＝144.445円で換算。運用資産残高は当運用戦略と同様の戦略で運用されているコンボジット(同様の運用目的や運用戦略に従って運用されるポートフォリオを1つに集めたもの)の資産残高です。

当運用戦略の魅力



1 良好なパフォーマンスにより
高い評価を受ける当運用戦略

2 優れた運用実績を創出するための
独自の投資目標と哲学

3 豊富な知識と経験を備えた運用チーム

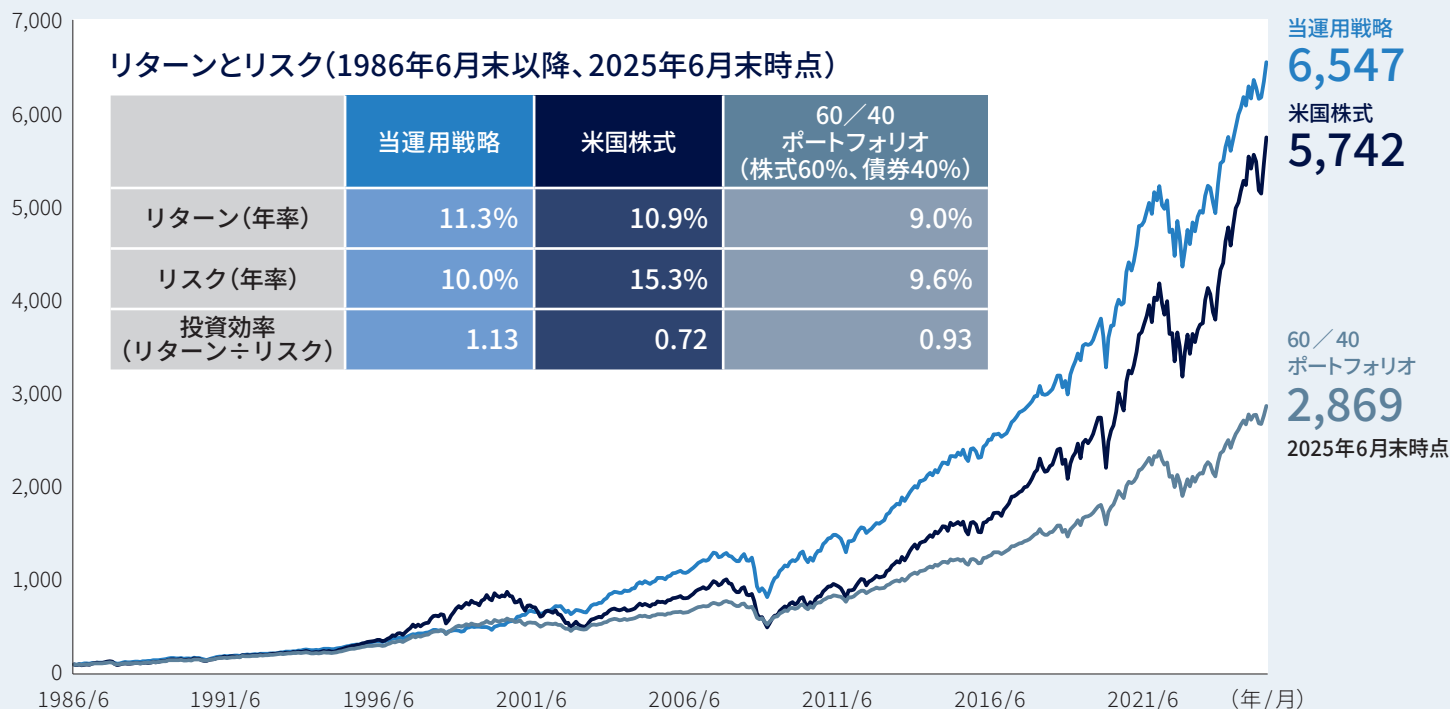




当運用戦略のパフォーマンス

- 当ファンド^{*1}が実質的に採用する運用戦略で運用されている米国籍ファンドは、米国の株式・債券に投資を行い^{*2}、米国株式市場よりも低いリスクで米国株式市場を上回る運用実績を残しています。
- 定性面・定量面の評価から将来のパフォーマンスへの確信度を示すモーニングスター・メダリスト・レーティング、過去のパフォーマンスを評価するモーニングスター・レーティング(総合、5年、10年)の両方で最上位の評価を獲得しています。

当運用戦略の設定来パフォーマンス(分配金再投資、費用控除後、米ドルベース)



出所:S&P、Bloombergのデータをもとにティール・ロウ・プライスが作成。

期間:1986年6月末(設定日)~2025年6月末。1986年6月末=100として指数化。当運用戦略のパフォーマンスは米国籍ファンドの米ドルベースの月次リターン(分配金再投資、費用控除後)を用いて計算しています。米国株式はS&P500インデックスの米ドルベースの月次リターン(トータルリターン)、60/40ポートフォリオはS&P500インデックスとブルームバーグ米国総合債券インデックスをそれぞれ60%と40%の比率で月次リバランスを行った合成指数の米ドルベースの月次リターン(トータルリターン)を使用しています。指数は、市場推移の参考として記載しており、当ファンドのベンチマークではありません。

当運用戦略米国籍ファンド

モーニングスター・メダリスト・レーティング^{*3}
(定性・定量評価)



モーニングスター・レーティング^{*3}

総合 ★★★★★

評価期間
5年、10年 ★★★★★

2025年6月末時点
モーニングスターカテゴリー:
Moderate Allocation

- ・モーニングスターカテゴリーは取得時点のものであり、将来変更される場合があります。
- ・モーニングスターについては「留意事項」のページをご確認ください。

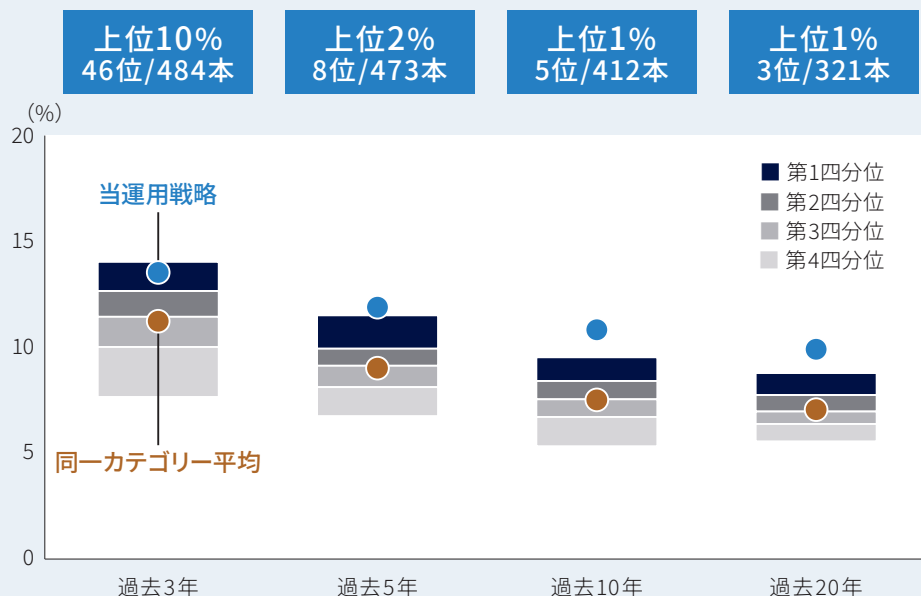
本ページで示した運用実績は、当ファンドが実質的に採用する運用戦略で運用されている米国籍ファンドのものであり、当ファンドのものではありません。また、当ファンドの将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。米国籍ファンドについてはバンクローン、カバード・コールおよび未上場株式等への投資が可能な設計となっているものの、当資料作成時点において当ファンドの投資対象であるマザーファンドに組み入れる予定はありません。
*1 当資料では、AコースとBコースを総称して当ファンドとします。*2 米国以外にも投資する場合があります。*3 当該評価は過去の一定期間の実績を分析したものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。
・表示されている商標は、それぞれの所有者に帰属します。ティール・ロウ・プライスがこれらの商標の所有者を支持、後援、承認、提携するものではありません。
・モーニングスターカテゴリーが「Moderate Allocation」に分類される米国籍ファンドと比較しています。Moderate Allocationは、主に株式や債券への投資を通じて投資元本の成長と配当等の収益の双方を追求するファンドとしてモーニングスターが分類しています。

カテゴリー平均を上回る良好なパフォーマンス

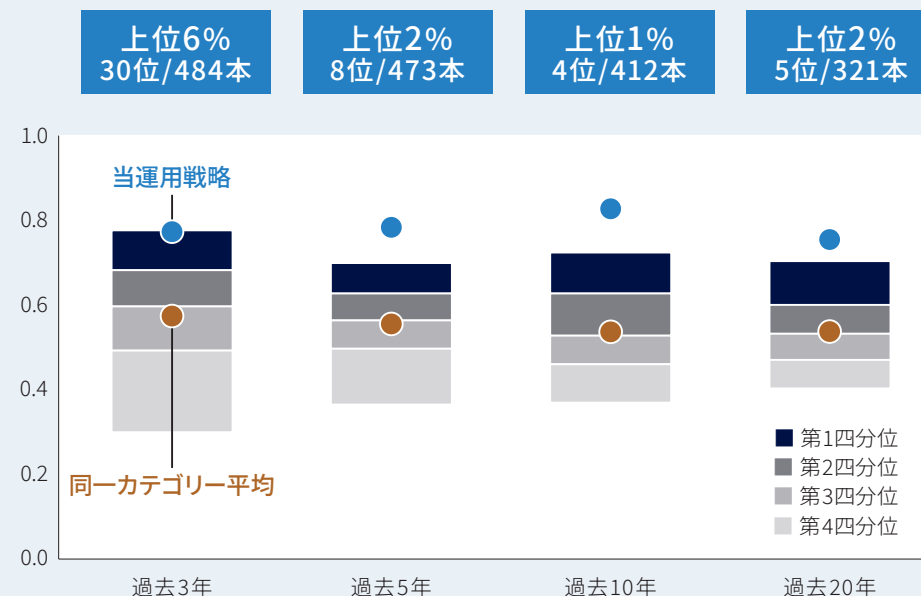


■ 期間別のリターン、シャープレシオをみると、モーニングスターの同一カテゴリーのファンドの中で上位に位置しています。

期間別リターン(年率、米ドルベース)



期間別シャープレシオ(米ドルベース)



※第1～4四分位は、カテゴリー内でそれぞれ上位から5%超～25%以下、25%超～50%以下、50%超～75%以下、75%超～95%以下に属する各ファンドの数値の範囲を表しています。上位5%超と下位5%未満は除外しています。
 ※シャープレシオとは、投資信託の運用成績を測るための指標のひとつです。リターンの標準偏差でリスクをとらえたときに、保有するポートフォリオのリスクに対してどれだけのリスクプレミアム(リスクに対する見返り)を獲得できたかを示し、数値が大きいほど運用効率が高いとされます。

本ページで示した運用実績は、当ファンドが実質的に採用する運用戦略で運用されている米国籍ファンドのものであり、当ファンドのものではありません。また、当ファンドの将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。米国籍ファンドについてはバンクローン、カバード・コールおよび未上場株式等への投資が可能な設計となっているものの、当資料作成時点において当ファンドの投資対象であるマザーファンドに組み入れる予定はありません。

出所:モーニングスターのデータをもとにティール・ロウ・プライスが作成。2025年6月末時点。

- ・モーニングスターについては「留意事項」のページをご確認ください。
- ・当運用戦略のパフォーマンスは米国籍ファンドの米ドルベースの月次リターン(分配金再投資、費用控除後)を用いています。
- ・モーニングスターカテゴリーが「Moderate Allocation」に分類される米国籍ファンドと比較しています。



数多くの記録・受賞歴^{*1}

過去100年間で唯一、17年連続同一カテゴリ平均を上回る^{*2}

当運用戦略を採用する米国籍ファンドは、17年連続で同一カテゴリの平均を上回るリターンをあげてきました。同一の運用責任者により運用されるファンドとして、70年以上破られてこなかった偉大な記録を塗り替えました^{*3}。

3度 モーニングスターによるアワードを受賞

当運用戦略の運用責任者であるデイビッド・ジルーは、モーニングスターの「モーニングスター・アワード・フォー・インベスティング・エクセレンス」のアロケーション部門に7度ノミネートされ、2012年、2017年、2025年の3度受賞^{*4}しました。過去に優秀な運用者が受賞した歴史を有する同賞を複数回受賞するという快挙となりました。

ベスト・ファンド・アワード 累計23のアワードを受賞

当運用戦略を採用する米国籍ファンドは、リップーによる「ベスト・ファンド・アワード」で累計23の賞を受賞^{*5}しました。



運用責任者
デイビッド・ジルー、CFA®
運用経験27年 2025年6月末時点

本ページで示した運用実績は、当ファンドが実質的に採用する運用戦略で運用されている米国籍ファンドのものであり、当ファンドのものではありません。また、当ファンドの将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。米国籍ファンドについてはバンクローン、カバード・コールおよび未上場株式等への投資が可能な設計となっているものの、当資料作成時点において当ファンドの投資対象であるマザーファンドに組み入れる予定はありません。出所:モーニングスター、リップー、ティール・ロウ・プライスの調査・情報をもとにティール・ロウ・プライスが作成。2025年6月末時点。

*1 当該評価は過去の一定期間の実績を分析したものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。*2 モーニングスターのデータをもとにティール・ロウ・プライスが分析。モーニングスターカテゴリ: Moderate Allocation。1925年以降においてモーニングスターカテゴリでマルチアセットや米国株式に分類される米国籍の3,000以上の投資信託や上場投資信託(ETF)を比較した結果に基づく。当運用戦略における17年連続での同一カテゴリ平均を上回るリターンは2008年~2024年の実績。*3 モーニングスターのデータをもとにティール・ロウ・プライスが分析。*4 モーニングスター・アワード・フォー・インベスティング・エクセレンスは、投資家の利益のために市場のコンセンサスとは異なる判断を下す勇敢さや優れた投資スキルを示したポートフォリオマネジャーや資産運用会社を表彰するものです。モーニングスター・アワード・フォー・インベスティング・エクセレンスの受賞者は、モーニングスターのマネジャーリサーチグループによる調査と詳細な定性的評価に基づいて選出されます。*5 同一年の複数受賞も含まれます。後記の「外部評価に関する補足説明について」を必ずお読みください。

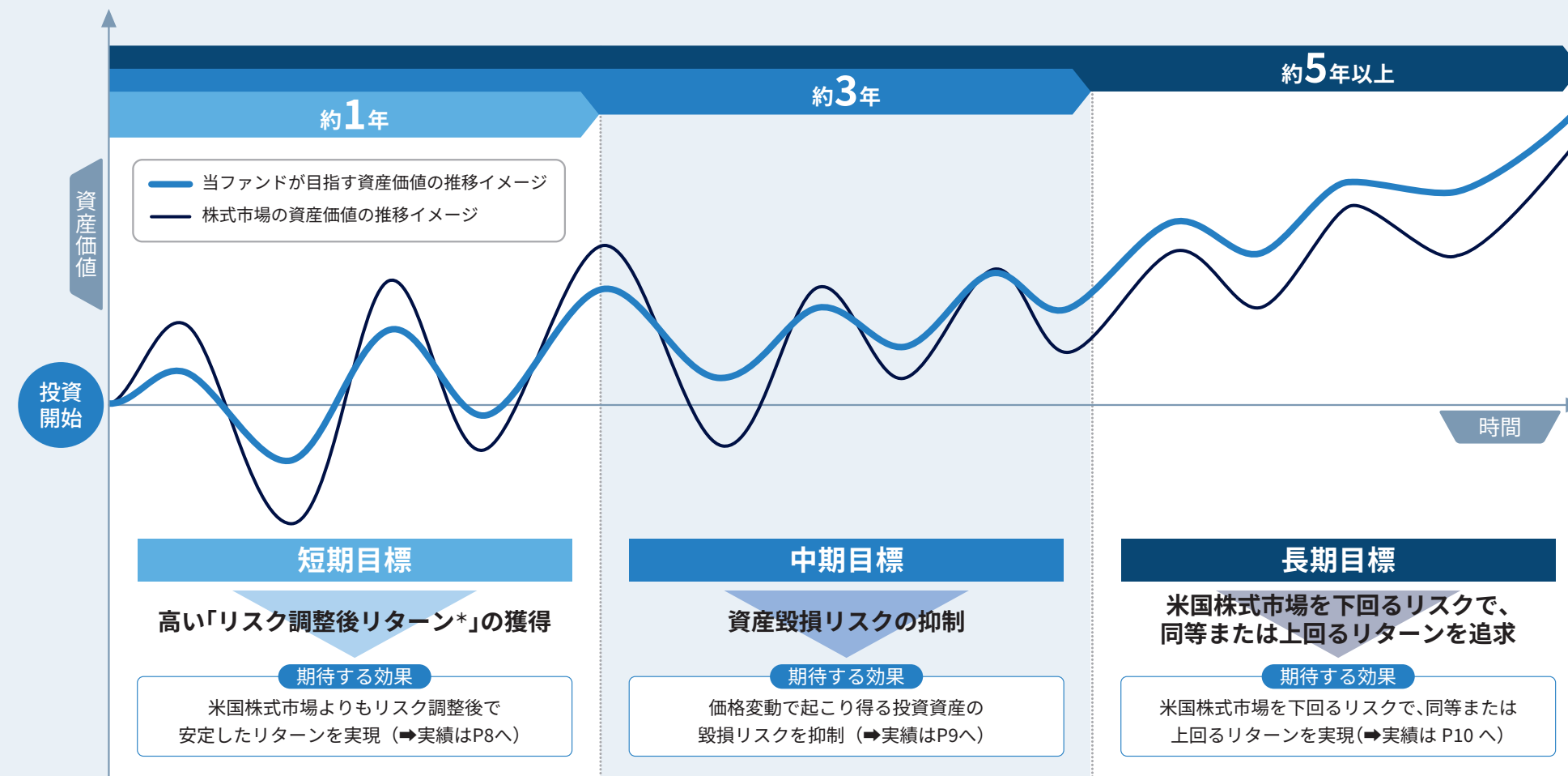
・当資料作成時点において取得可能な情報に基づき作成しています。

・CFA®はChartered Financial Analyst®の略で米国の証券アナリスト資格です。CFA®およびChartered Financial Analyst®は、CFA Instituteの登録商標です。



短期・中期・長期、3つの投資目標

■ 当ファンドでは複数の時間軸での投資目標を追求しており、これらの達成を通じて投資家の長期安定運用ニーズに応えることを目指しています。



*リスク調整後リターンはシャープレシオを指します。シャープレシオとは、投資信託の運用成績を測るための指標のひとつです。リターンの標準偏差でリスクをとらえたときに、保有するポートフォリオのリスクに対してどれだけのリスクプレミアム(リスクに対する見返り)を獲得できたかを示し、数値が大きいほど運用効率が高いとされます。

・上記はあくまでイメージ図であり、当ファンドの将来の投資行動や成果を示唆・保証するものではありません。

・将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。

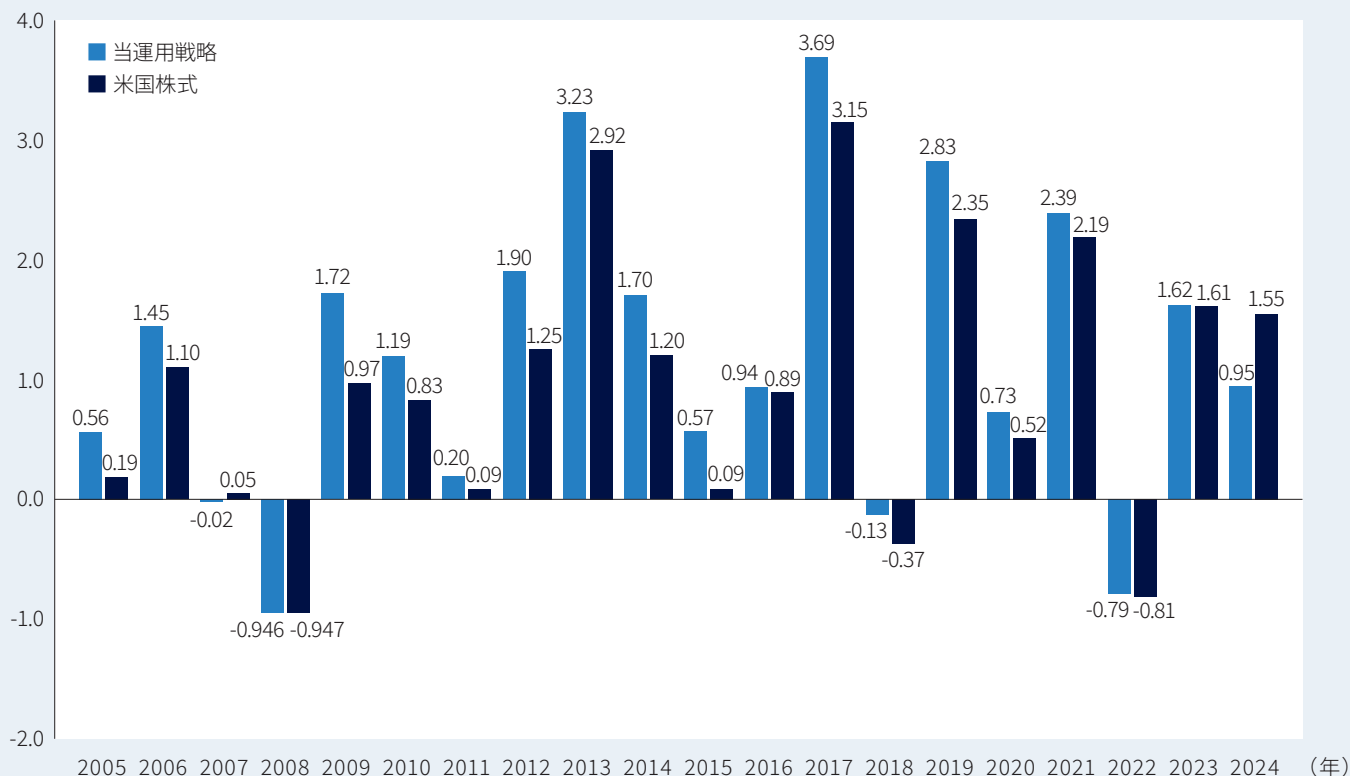


短期目標

高い「リスク調整後リターン」の獲得

- 当運用戦略は高い「リスク調整後リターン(シャープレシオ)」の獲得に注力することで良好なパフォーマンスを創出してきました。
- 過去20年のうち18年において米国株式を上回るシャープレシオを実現し、米国株式市場よりもリスク調整後で安定したリターンを獲得してきました。

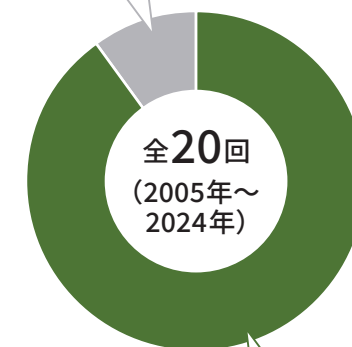
当運用戦略と米国株式のシャープレシオ(暦年ベース、過去20年、米ドルベース)



ご参考

当運用戦略のシャープレシオが
米国株式を上回った回数

米国株式を下回った年
2回(2007年、2024年のみ)



全20回
(2005年～
2024年)

米国株式を上回った年
18回

本ページで示した運用実績は、当ファンドが実質的に採用する運用戦略で運用されている米国籍ファンドのものであり、当ファンドのものではありません。また、当ファンドの将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。米国籍ファンドについてはバンクローン、カバード・コールおよび未上場株式等への投資が可能な設計となっているものの、当資料作成時点において当ファンドの投資対象であるマザーファンドに組み入れる予定はありません。

出所:S&Pのデータをもとにティー・ロウ・プライスが作成

期間:2005年～2024年。

・当運用戦略のパフォーマンスは米国籍ファンドの米ドルベースの日次リターン(分配金再投資、費用控除後)を、米国株式はS&P500インデックスの米ドルベースの日次リターン(トータルリターン)を用いて計算しています。指数は、市場推移の参考として記載しており、当ファンドのベンチマークではありません。



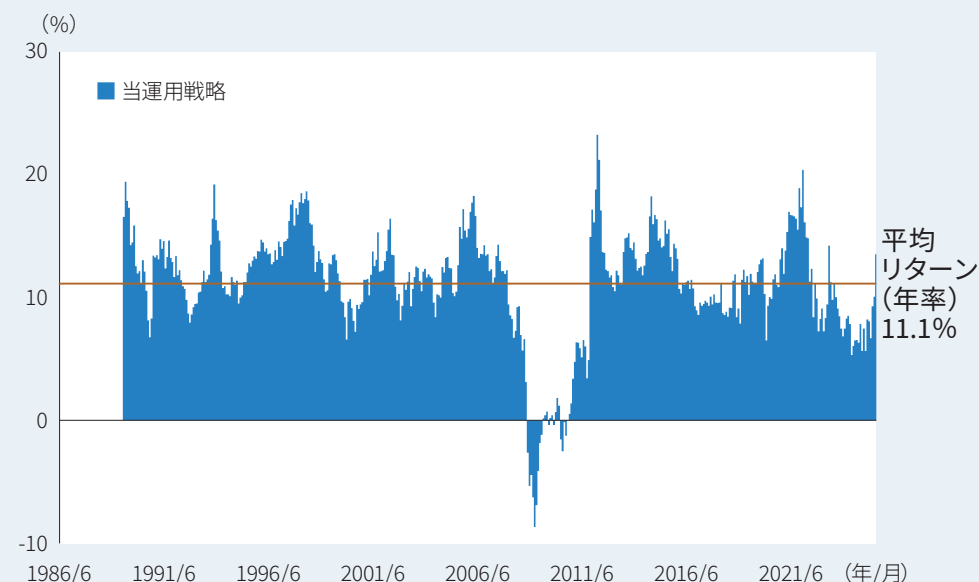
中期目標

資産毀損リスクの抑制

- 当運用戦略の5年間のリターンを設定来でみると、米国株式は409回中49回マイナスを記録したのに対し、当運用戦略はマイナスの回数が409回中1回しかありませんでした。
- 株式市場の下落局面において資産価値を維持できれば、その後の市場回復時における資産成長の可能性を広げることにつながります。当運用戦略では中期目標として資産毀損リスクの抑制を追求します。

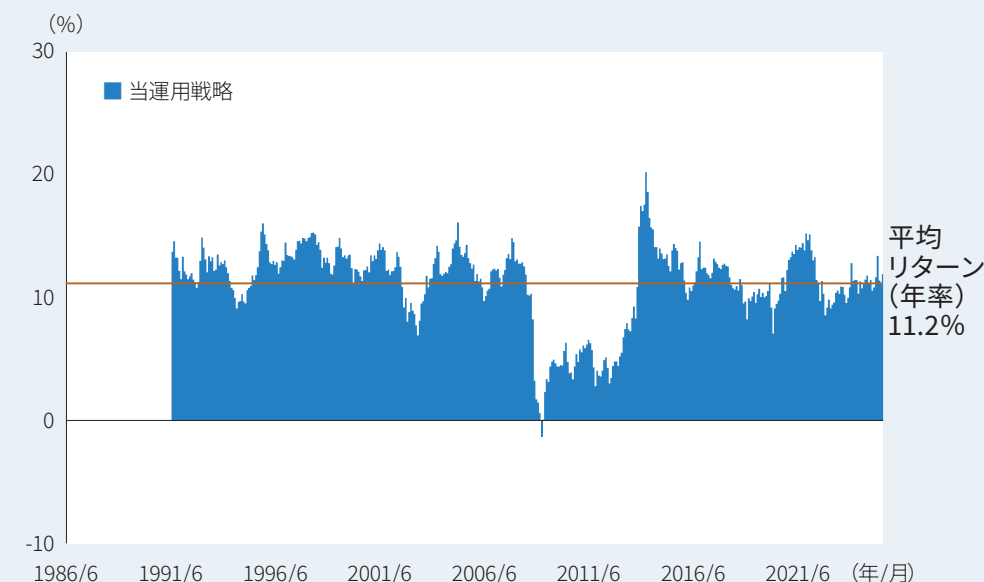
3年間リターン(月次ローリング、年率、米ドルベース)

	リターンがプラスになった回数	リターンがマイナスになった回数
当運用戦略	417回／433回	16回／433回
米国株式	374回／433回	59回／433回



5年間リターン(月次ローリング、年率、米ドルベース)

	リターンがプラスになった回数	リターンがマイナスになった回数
当運用戦略	408回／409回	1回／409回
米国株式	360回／409回	49回／409回



本ページで示した運用実績は、当ファンドが実質的に採用する運用戦略で運用されている米国籍ファンドのものであり、当ファンドのものではありません。また、当ファンドの将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。米国籍ファンドについてはバンクローン、カバード・コールおよび未上場株式等への投資が可能な設計となっているものの、当資料作成時点において当ファンドの投資対象であるマザーファンドに組み入れる予定はありません。

出所:S&Pのデータをもとにティー・ロウ・プライスが作成。

期間:1986年6月末(設定日)～2025年6月末

・ローリング・リターンは、リターン計測期間の起点と終点を1ヵ月ずつずらしながら保有期間3年もしくは5年のパフォーマンスを計測したものです。当運用戦略のパフォーマンスは米国籍ファンドの米ドルベースの月次リターン(分配金再投資、費用控除後)を、米国株式はS&P500インデックスの米ドルベースの月次リターン(トータルリターン)を用いて計算しています。指数は、市場推移の参考として記載しており、当ファンドのベンチマークではありません。

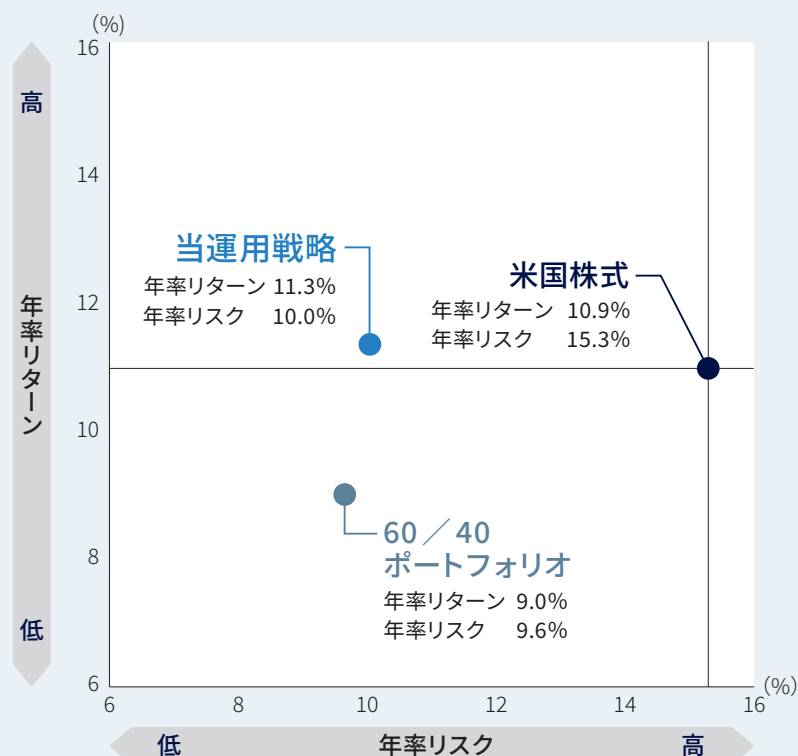


長期目標

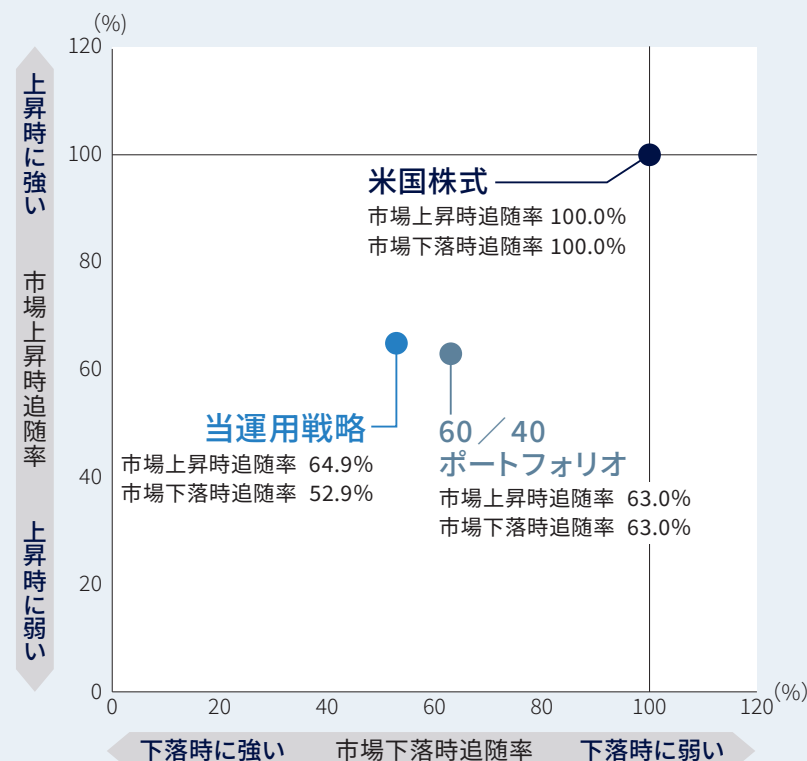
米国株式市場を下回るリスクで、同等または上回るリターンを追求

- 当運用戦略の設定来の運用実績をみると、米国株式市場を上回るリターンを獲得してきました。
- 米国株式市場の下落局面における低い追従率が、優れたパフォーマンスの一因となっています。

リスク・リターン(設定来、年率、米ドルベース)



市場上昇時・下落時追従率(設定来、米ドルベース)



本ページで示した運用実績は、当ファンドが実質的に採用する運用戦略で運用されている米国籍ファンドのものであり、当ファンドのものではありません。また、当ファンドの将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。米国籍ファンドについてはバンクローン、カバード・コールおよび未上場株式等への投資が可能な設計となっているものの、当資料作成時点において当ファンドの投資対象であるマザーファンドに組み入れる予定はありません。

出所:S&P、Bloombergのデータをもとにティール・ロウ・プライスが作成。

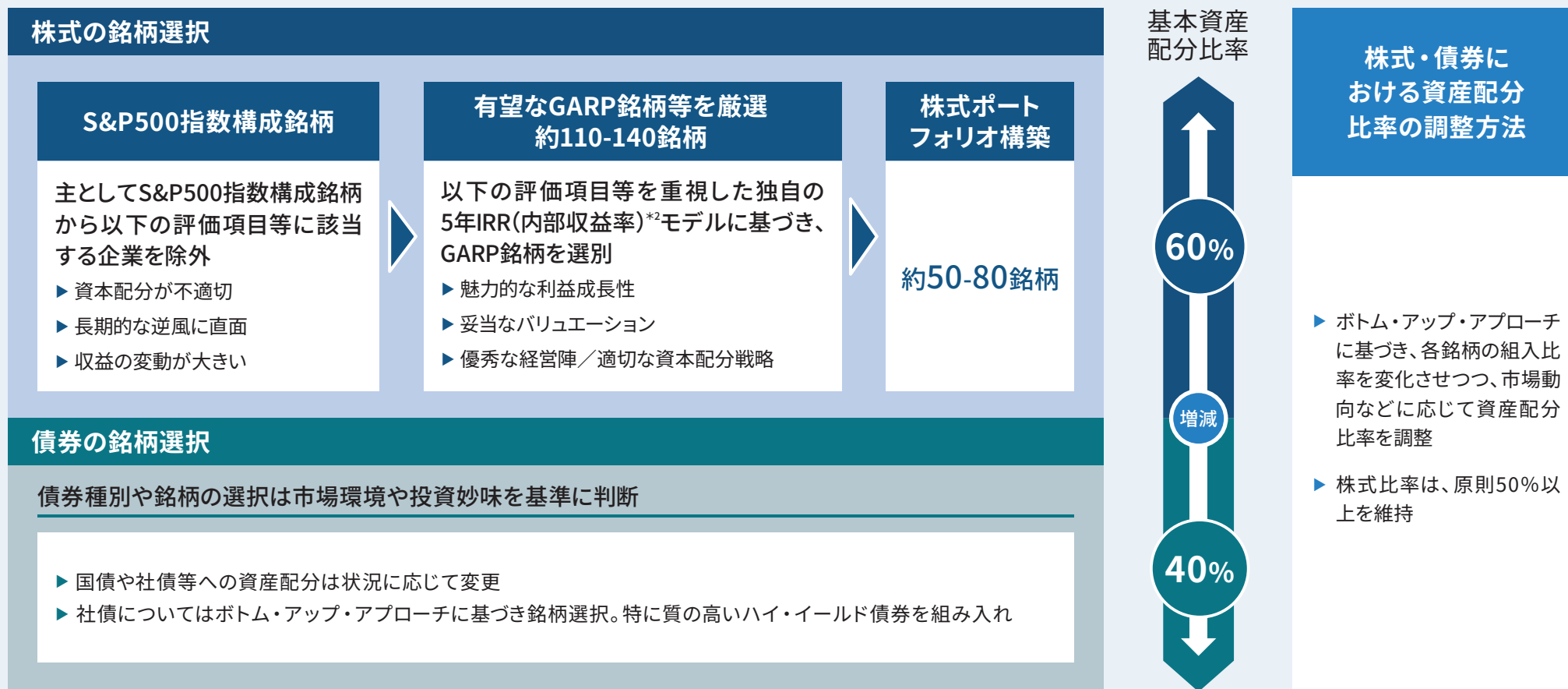
期間:1986年6月末(設定日)~2025年6月末

・当運用戦略のパフォーマンスは米国籍ファンドの米ドルベースの月次リターン(分配金再投資、費用控除後)を用いて計算しています。米国株式はS&P500インデックスの米ドルベースの月次リターン(トータルリターン)、60/40ポートフォリオはS&P500インデックスとブルームバーグ米国総合債券インデックスをそれぞれ60%と40%の比率で月次リバランスを行った合成指数の米ドルベースの月次リターン(トータルリターン)を使用しています。指数は、市場推移の参考として記載しており、当ファンドのベンチマークではありません。



当ファンドの運用プロセス

- 当ファンドは、ボトム・アップ・アプローチを重視し、原則、株式60%／債券40%を基本資産配分比率として運用を行います。資産毀損リスクの抑制を図りながら、長期的な資産の成長を目指します。
- リスク調整後リターンが魅力的な銘柄の選択を柱として、株式では米国等のGARP銘柄^{*1}等、債券では米国等の国債・社債等(ハイ・イールド債券を含みます。)に投資します。



2025年6月末時点

*1 Growth at Reasonable Priceの頭文字をつづったもので、成長性とバリュエーション(株価評価)のバランスが取れており、適切な資本配分が可能な企業の株式を指します。

*2 IRR(内部収益率)とは、投資額と投資により将来受け取りが期待される資金の現在価値合計が等しくなる利回りを指します。一般的に、この数値が大きいほど投資効率が低いとされます。

※上記の資産配分比率における債券比率には短期金融資産や現金も含まれます。

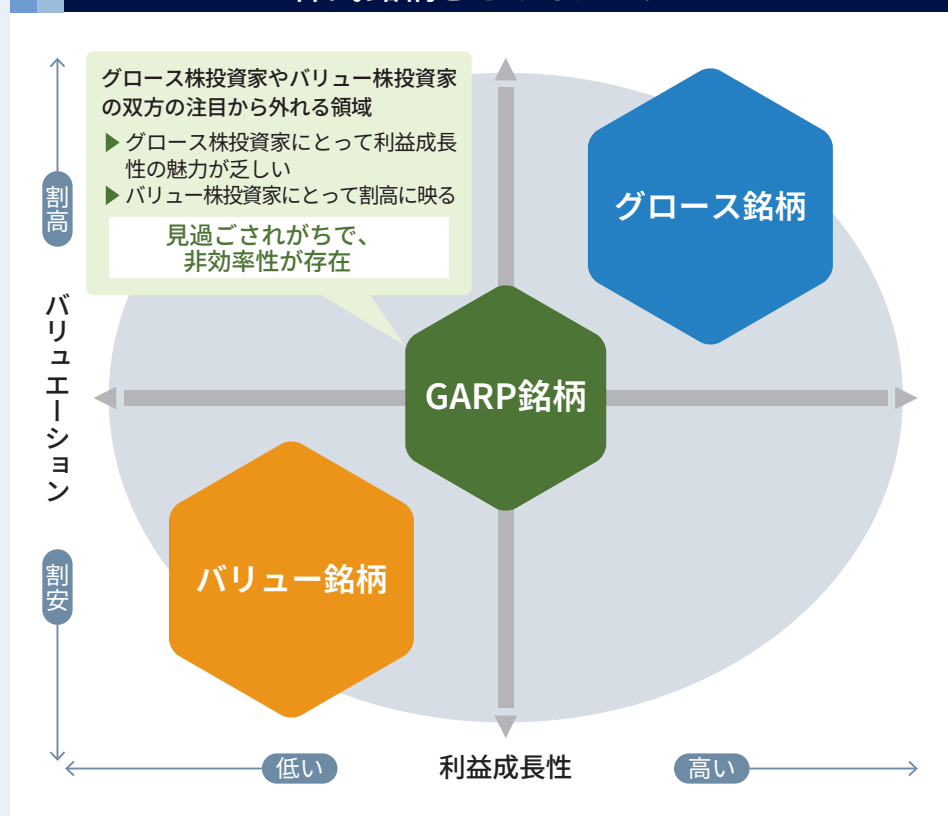
・上記の運用プロセスは、将来変更される場合があります。



GARP銘柄の考え方

- 当ファンドではGARP銘柄を、利益成長性とバリュエーションのバランスがよく、適切な資本配分が可能な企業の株式と捉えています。
- GARP銘柄は投資家から見過ごされやすく、株式の本来の価値が適切に評価されていないという非効率性があり、魅力的な投資機会が存在すると考えられます。

株式銘柄ごとのイメージ



有望なGARP銘柄を見極める3つのポイント

魅力的な利益成長性	妥当なバリュエーション	優秀な経営陣／適切な資本配分戦略
株式市場全体よりも高い利益成長率	株価が本質的価値を下回り割安	有能な経営陣を擁し、設備投資やM&A*など有効な資本配分が可能

“Fishing in the right pond”

「正しい池で釣りをする」



魚がない池で釣りをしても成果が出ないように、株式投資においても、長期的に優れたパフォーマンスが期待できると考えられる銘柄群(魚が多い池)から選別して投資を行うことが重要と考えられます。

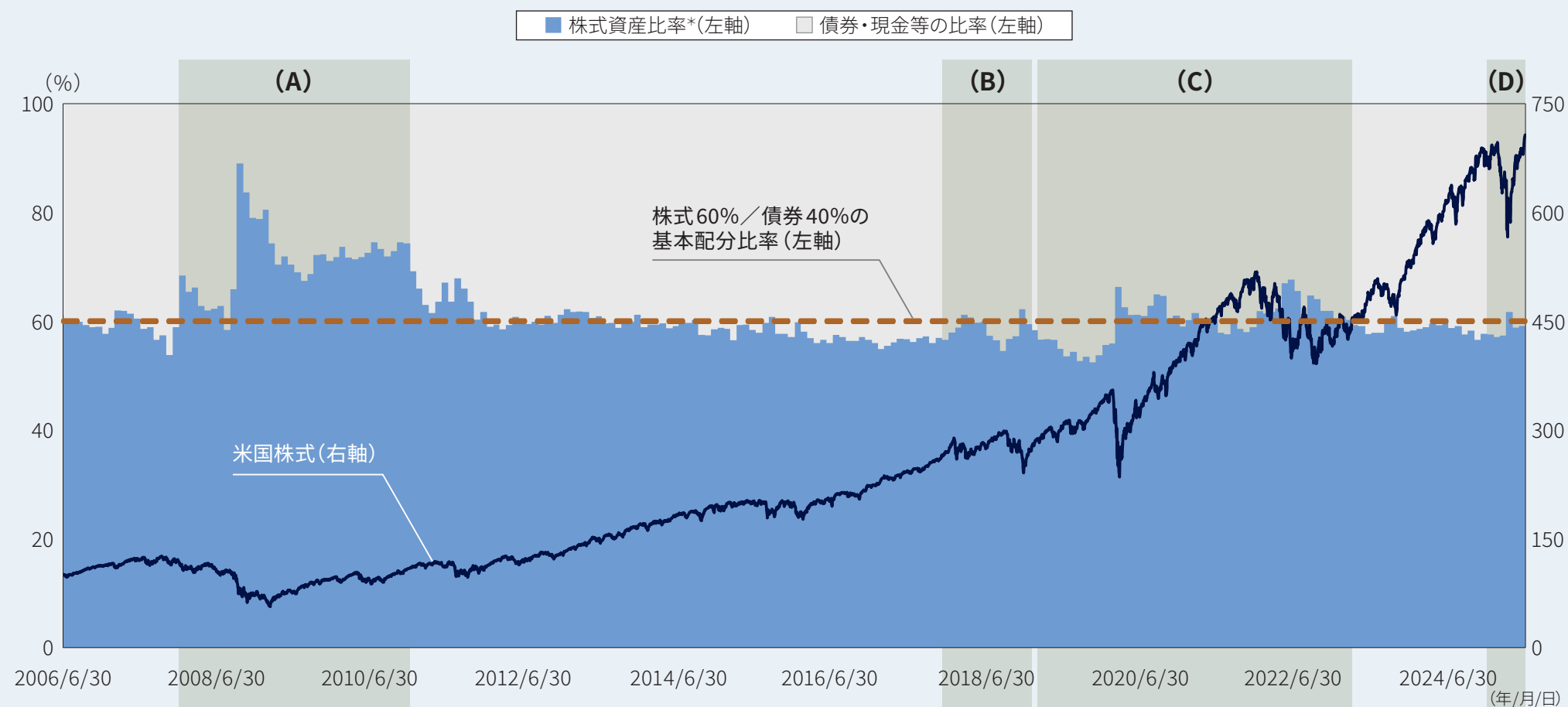
*M&Aは、Mergers and Acquisitionsの略で合併・買収を指します。
・上記はあくまでイメージ図であり、当ファンドの将来の投資行動や成果を示唆・保証するものではありません。
・将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。



逆張りの発想で資産配分を変化させる当運用戦略

- 将来の不確実性を背景に投資家は過度に足元の市場環境を重視する傾向がありますが、当運用戦略ではより長い時間軸で捉え、逆張りの発想で、市場の非効率性を活かすことを目指します。
- 株式市場に恐怖心が蔓延するような局面では資産価値の拡大につながるような投資機会を活用し、楽観的なムードが広がる局面では資産価値の維持に努めます。

当運用戦略における資産配分比率と米国株式の指数推移(米ドルベース)



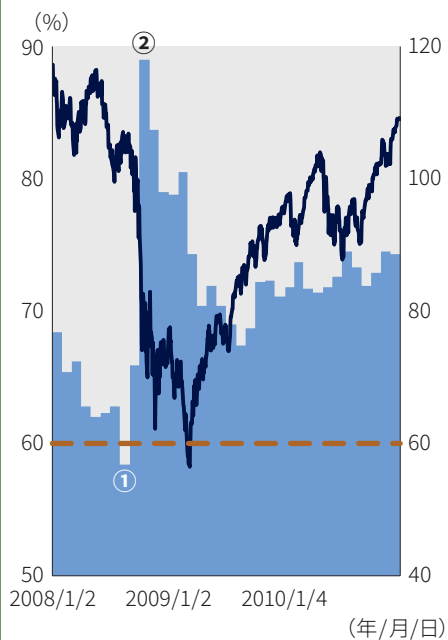
(A) 世界金融危機

期 間

2008年1月2日～2010年12月31日

投資行動

- ①2008年初より、米国株式市場の高値への警戒から、株式資産比率を徐々に引き下げた。
- ②その後、2008年9月にリーマン・ショックが発生し、米国株式市場がパニック売りとなるなか、株式資産比率を大幅に高めた。



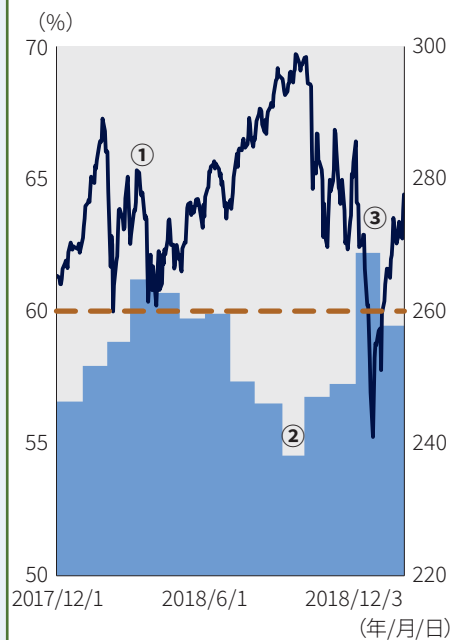
(B) 米中貿易摩擦、米財政不安

期 間

2017年12月1日～2019年1月31日

投資行動

- ①2018年前半、米中貿易摩擦激化などから米国株式市場が低迷した局面で株式資産比率を高めた。
- ②2018年半ば以降、米国株式市場が堅調に推移し、やや割高化するなかで株式資産比率を引き下げた。
- ③2018年末にかけては、米連邦政府の暫定予算切れ懸念と一部省庁の閉鎖を受け、市場が下落した局面を捉え株式資産比率を引き上げた。



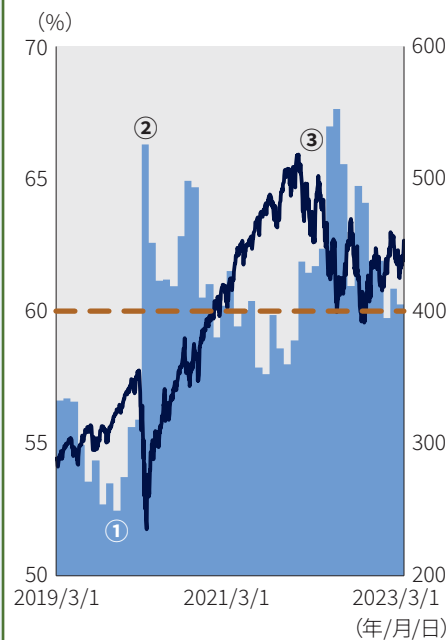
(C) コロナ・ショック、米利上げ転換

期 間

2019年3月1日～2023年3月31日

投資行動

- ①2019年後半に株式が割高と判断し、株式資産比率を引き下げた。
- ②コロナ・ショックで経済活動の停滞を巡る懸念から投資家心理が悪化するなか、株式資産比率を引き上げた。
- ③2021年後半、米連邦準備制度理事会(FRB)による金融引き締めへの政策転換を織り込む動きが広がり、米国株式市場が下落するなか、再度、株式資産比率を高めた。



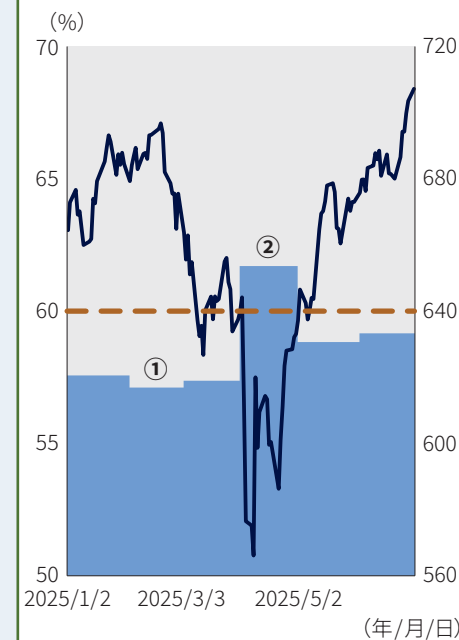
(D) トランプ関税

期 間

2025年1月2日～2025年6月30日

投資行動

- ①2025年に入りトランプ政権の関税政策を巡って株式市場の変動性が高まり、先行き不透明な状況が続くとみて、株式資産比率を低めに維持していた。
- ②4月に想定以上の相互関税策が発表され、リスク回避の動きから米国株式市場が下落した局面を好機とみて、長期有望銘柄に割安な水準で投資を行った。



■ 株式資産比率(左軸) ■ 債券・現金等の比率(左軸) — 株式60%/債券40%の基本配分比率(左軸) — 米国株式(右軸)

本ページで示した運用実績は、当ファンドが実質的に採用する運用戦略で運用されている米国籍ファンドのものであり、当ファンドのものではありません。また、当ファンドの将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。米国籍ファンドについてはバンクローン、カバード・コールおよび未上場株式等への投資が可能な設計となっているものの、当資料作成時点において当ファンドの投資対象であるマザーファンドに組み入れる予定はありません。

出所:ファクトセットのデータをもとにティー・ロウ・プライスが作成。

期間:2006年6月30日～2025年6月30日。資産配分比率は月次、米国株式は日次(2006年6月30日=100として指数化)で表示しています。

*株式資産比率は、株式保有比率に加え、カバード・コールや転換社債、その他のデリバティブの影響および株式のベータ値が株式ポートフォリオに与える要因を調整したティー・ロウ・プライスが算出した値です。

・米国株式はS&P500インデックスの米ドルベースの日次リターン(トータルリターン)を用いて計算しています。指数は、市場推移の参考として記載しており、当ファンドのベンチマークではありません。

・現在の運用責任者の担当開始時期である2006年6月末を起点として表示しています。

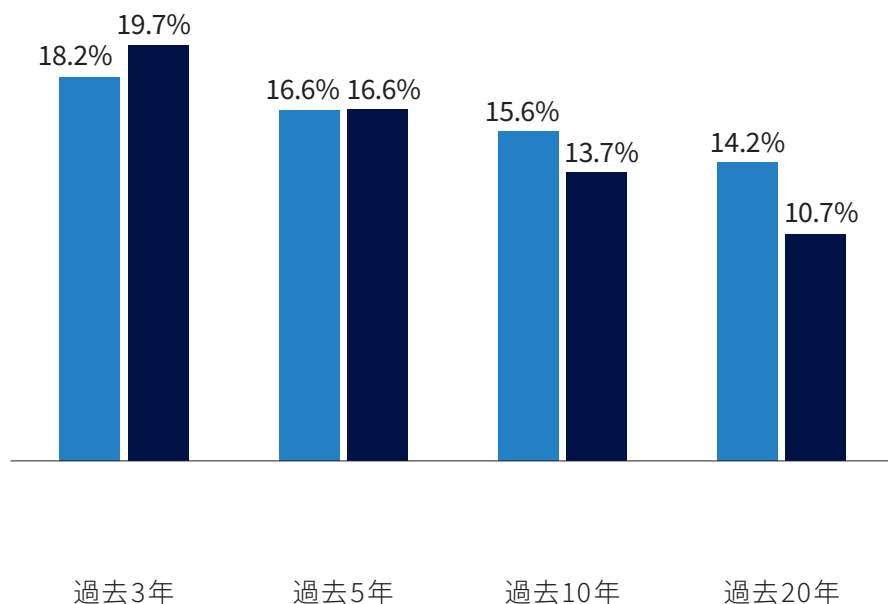
株式ポートフォリオの実績と投資事例



- 当運用戦略の株式ポートフォリオでは、近年において市場を牽引した大型テクノロジー銘柄の保有が相対的に少なく、米国株式市場に劣後したものの、長期的には米国株式市場を上回るリターンを獲得してきました。
- 徹底した企業調査を通じた有望なGARP銘柄への投資が良好なパフォーマンスにつながっています。

株式ポートフォリオの期間別騰落率(年率、米ドルベース)

■ 当運用戦略の株式ポートフォリオ
■ 米国株式



(ご参考)GARP銘柄への過去の投資事例

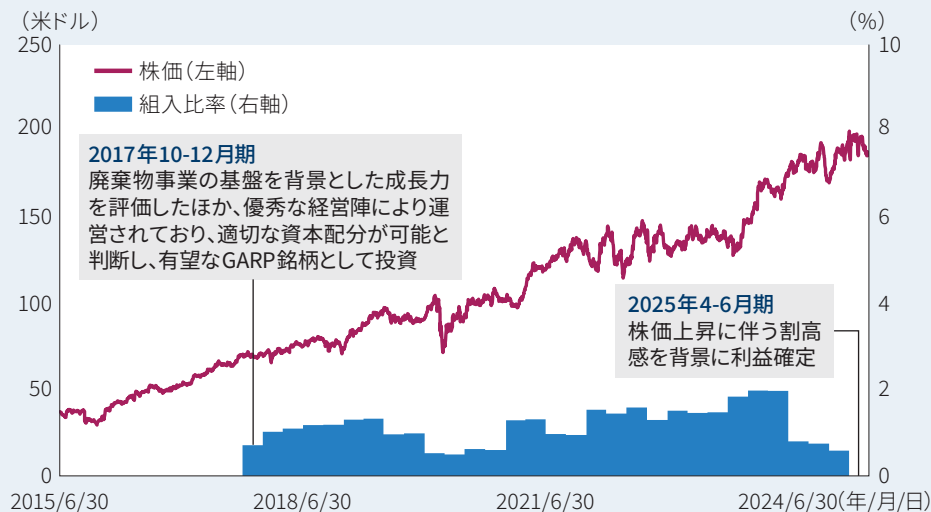
ウェイスト・コネクションズ

米国／資本財・サービス



概要

米国やカナダで廃棄物の収集・輸送・処分・リサイクルを手掛ける。約900万件の住宅や企業にサービスを提供。



本ページで示した運用実績は、当ファンドが実質的に採用する運用戦略で運用されている米国籍ファンドのものであり、当ファンドのものではありません。また、当ファンドの将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。米国籍ファンドについてはバンクローン、カバード・コールおよび未上場株式等への投資が可能な設計となっているものの、当資料作成時点において当ファンドの投資対象であるマザーファンドに組み入れる予定はありません。

出所:S&P、ファクトセット、各社ホームページなどをもとにティー・ロウ・プライスが作成。

左図:2025年6月末時点。当運用戦略の株式ポートフォリオの騰落率は米国籍ファンドにおける株式ポートフォリオの月次リターン(米ドルベース、分配金再投資、費用控除前)を用いて計算しています。米国株式はS&P500インデックスの米ドルベースの月次リターン(トータルリターン)を用いて計算しています。指数は、市場推移の参考として記載しており、当ファンドのベンチマークではありません。

右図の期間:2015年6月30日～2025年6月30日(株価は日次、組入比率は四半期ベース)。組入比率は普通株式の対純資産総額の比率を表示しています。

・上記銘柄は過去の保有状況であり、個別銘柄の売買を推奨するものではなく、価格の上昇や下落、将来の組み入れまたは売却を示唆・保証するものではありません。

・セクターは世界産業分類基準(GICS)を使用しています。ティー・ロウ・プライスは、将来の報告についてGICSの更新があればそれに従います。GICSの情報は「留意事項」のページをご確認ください。

・写真はイメージです。

株式ポートフォリオの組入銘柄ご紹介



マケッソン

米国／ヘルスケア



概要

医薬品の流通、医療用品の卸売のほか、医療サービス・医療情報システムなどを提供。1833年設立の「オルcott&マケッソン」が前身。他社に先駆けて全米規模の医薬品卸売販売網を構築。

運用チームの視点

がん領域やバイオ医薬品サービスといった分野で強みを有すると評価。高成長と高収益を支える事業資産や資本の効率的な配分によって、今後も成長を続けると予想。

インガソール・ランド

米国／資本財・サービス



概要

産業用機械の設計・製造・販売に従事。80以上にのぼるブランドの製品を販売。コンプレッサーの世界トップメーカー。同業他社よりも割安な水準で企業買収を行うことで高い資本効率を誇り、業態を拡大。

運用チームの視点

割安な水準で行った買収を通じて高いリターンを獲得し、急速なペースで成長。事業活動から得たフリー・キャッシュ・フロー*を有効活用し、株主価値向上につなげる優れた資本配分を高く評価。



本ページで示した運用実績は、当ファンドが実質的に採用する運用戦略で運用されている米国籍ファンドのものであり、当ファンドのものではありません。また、当ファンドの将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。米国籍ファンドについてはバンクローン、カバード・コールおよび未上場株式等への投資が可能な設計となっているものの、当資料作成時点において当ファンドの投資対象であるマザーファンドに組み入れる予定はありません。出所:ファクトセット、各社ホームページなどをとにティール・ロウ・プライスが作成。左図の期間:2015年6月30日～2025年6月30日(株価は日次、組入比率は四半期ベース)、右図の期間:2017年5月12日(上場日)～2025年6月30日(株価は日次、組入比率は四半期ベース)。組入比率は普通株式の対純資産総額の比率を表示しています。

*フリー・キャッシュ・フロー:税引後営業利益に減価償却費を加え、設備投資額と運転資本の増加を差し引いたもの。

・上記銘柄は過去の保有状況であり、個別銘柄の売買を推奨するものではなく、価格の上昇や下落、将来の組み入れまたは売却を示唆・保証するものではありません。

・セクターは世界産業分類基準(GICS)を使用しています。ティール・ロウ・プライスは、将来の報告についてGICSの更新があればそれに従います。GICSの情報は「留意事項」のページをご確認ください。

・写真はイメージです。

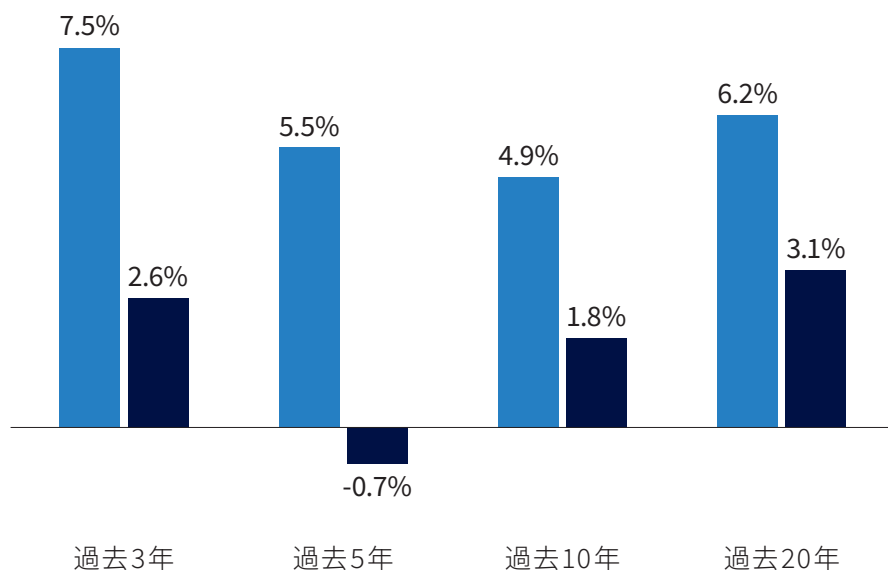
債券ポートフォリオの実績と良好なパフォーマンスの背景



- 当運用戦略では、質の高いハイ・イールド債券*などリスク調整後リターンが高いと期待される債券への投資を通じてリターンを積み上げてきました。
- ハイ・イールド債券は相対的に高いクレジットリスクを伴うものの、徹底した企業分析を通じた銘柄選択でリターンの獲得を目指しています。

債券ポートフォリオの期間別騰落率(年率、米ドルベース)

■ 当運用戦略の債券ポートフォリオ
■ 米国債券



債券ポートフォリオにおける良好なパフォーマンスの背景

質の高いハイ・イールド債券の積極的な組み入れ

質の高いハイ・イールド債券の魅力

ハイ・イールド債券の発行企業であっても、優れたビジネスモデルを有し、収益の安定性や高い成長性の期待される企業が存在します。そうした企業が発行するハイ・イールド債券は、債務不履行に陥るリスクを抑制しつつも高い利回りを獲得できる魅力的な投資対象資産となります。

ハイ・イールド債券市場に存在する非効率性

債券投資家のなかには投資可能な債券の格付を投資適格以上と定めているケースがあり、投資先の企業が優良企業であっても、債券の格付がハイ・イールド債券に格下げされた場合は、手放さなければならないという非効率性が存在します。

優良な企業を見極めると同時に非効率性から生じる投資機会を活用することで、債券ポートフォリオにおいて良好なパフォーマンスを達成してきました。

本ページで示した運用実績は、当ファンドが実質的に採用する運用戦略で運用されている米国籍ファンドのものであり、当ファンドのものではありません。また、当ファンドの将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。米国籍ファンドについてはバンクローン、カバード・コールおよび未上場株式等への投資が可能な設計となっているものの、当資料作成時点において当ファンドの投資対象であるマザーファンドに組み入れる予定はありません。出所: Bloombergのデータをもとにティール・ロウ・プライスが作成。左図: 2025年6月末時点。当運用戦略の債券ポートフォリオの騰落率は米国籍ファンドにおける債券ポートフォリオの月次リターン(米ドルベース、分配金再投資、費用控除前)を用いて計算しています。米国債券はブルームバーグ米国総合債券インデックスの米ドルベースの月次リターン(トータルリターン)を用いて計算しています。指数は、市場推移の参考として記載しており、当ファンドのベンチマークではありません。

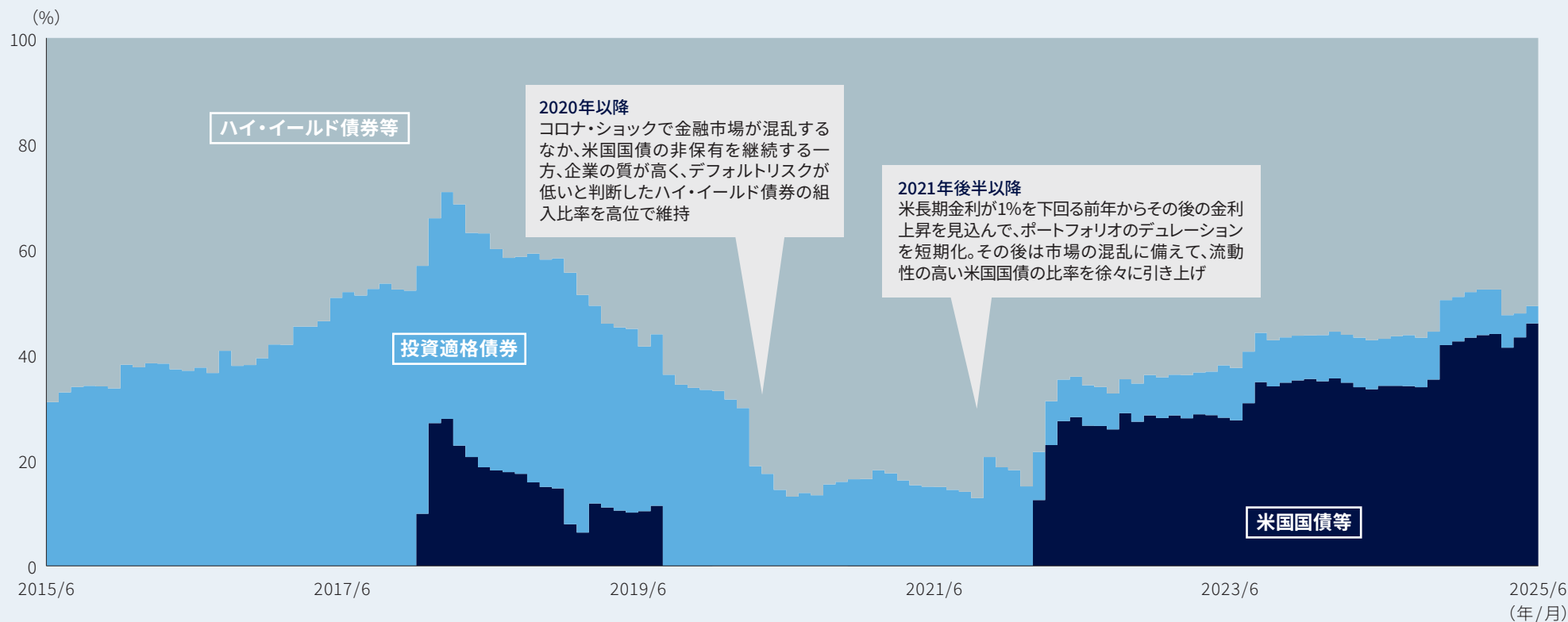
*ハイ・イールド債券は、格付会社による格付がダブルB(BB)以下の債券を指します。



債券ポートフォリオにおける運用の視点

- 当運用戦略では、クレジット・スプレッド*や金利、経済ファンダメンタルズといった金融・経済環境も考慮して投資を行っています。
- コロナ・ショックのような金融市場が混乱する局面では、優良企業であっても高い金利で債券を発行せざるを得ない状況になります。当運用戦略における債券運用では、そうした機会を質の高いハイ・イールド債券に高利回りで投資できる好機と捉えて、運用を行ってきました。
- 足元では、世界で最も安全な金融資産とされる米国国債がFRBの利上げによって魅力的な利回り水準に達しているため、組入比率を引き上げています。

当運用戦略・債券ポートフォリオにおける組入比率の推移(過去10年)



本ページで示した運用実績は、当ファンドが実質的に採用する運用戦略で運用されている米国籍ファンドのものであり、当ファンドのものではありません。また、当ファンドの将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。米国籍ファンドについてはバンクローン、カバード・コールおよび未上場株式等への投資が可能な設計となっているものの、当資料作成時点において当ファンドの投資対象であるマザーファンドに組み入れる予定はありません。

期間:2015年6月末～2025年6月末(月次)

*クレジット・スプレッドとは、信用リスクに応じて上乗せされる金利を指します。

・当運用戦略における債券ポートフォリオを100%として表示しています。

・米国国債等は米国国債および米国政府機関債、投資適格債券はAAA格～BBB格の債券、ハイ・イールド債券等はBB格～D格および格付無しの債券、それぞれを合計して表示しています。

・格付は、S&P、Moody's、Fitchのうち、最も高い格付を採用し、表示方法はS&Pの分類体系に置き換えています。



ティー・ロウ・プライス・グループと運用チーム

- ティー・ロウ・プライス・グループは、グローバルなリサーチ・プラットフォームによるアクティブ運用に強みを持つ大手運用会社グループです。

- 当ファンドの実質的な運用はティー・ロウ・プライス・グループのティー・ロウ・プライス・インベストメント・マネジメント・インクに再委託します。
- 当運用戦略の運用チームは、ティー・ロウ・プライス・グループの中で最大の規模を誇っています。

 85年超の 歴史	 約242兆円の 運用資産 ^{*1}	 残高1兆円超の 戦略59本 ^{*1}
 米国ナスダック 市場上場		 協働の文化
 約930名の 運用プロ ^{*2}	 カテゴリー平均超え ファンド約6割 ^{*3}	 S&P500 インデックス 採用企業

当運用戦略の運用チーム



運用責任者
デイビッド・ジルー
CFA®
運用経験27年



共同運用責任者
ヴィヴェク・ラジェスワラン
CFA®
運用経験13年



共同運用責任者
マイク・シニョーレ
運用経験12年



共同運用責任者
ブライアン・ソロモン
CFA®
運用経験9年



クオンツ分析
シニアリーダー
チェン・ティエン
運用経験10年



クオンツ・アナリスト
ニキル・シャー
CFA®
運用経験7年



アソシエイト・
アナリスト
ティラー・チャン
運用経験3年



アソシエイト・
アナリスト
ピーター・アポコス
運用経験5年

*1 2025年6月末時点。1米ドル＝144.445円で換算。グループ全体の運用資産残高には、ティー・ロウ・プライス・アソシエイツ・インク及び関連投資顧問による運用資産残高を含みます。

*2 2025年6月末時点。

*3 出所：モーニングスター。2025年6月末時点。ティー・ロウ・プライスが米国で提供するファンドが属するカテゴリー内ファンドのリターン(10年)の中央値を上回るファンド数の総ファンド数に占める比率です。ただし、マネー・マーケット・ファンド、運用期間が1年未満のファンド、パッシブ・ファンドを除きます。著作権はモーニングスターに帰属します。モーニングスターについては「留意事項」のページをご確認ください。

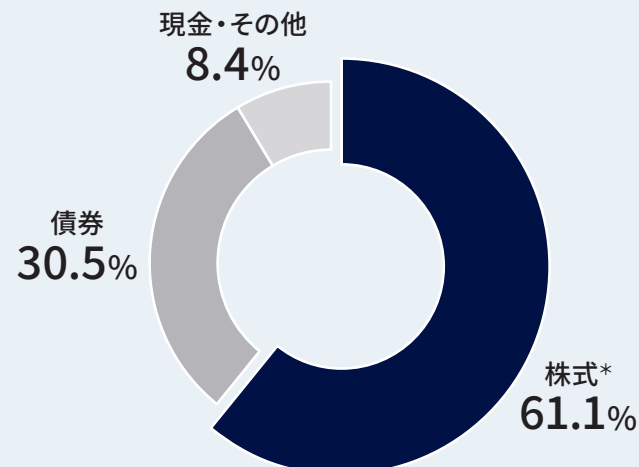
・2025年6月末時点。

・CFA®およびChartered Financial Analyst®は、CFA Instituteの登録商標です。

ポートフォリオについて(ポートフォリオ全体および株式ポートフォリオ)



当運用戦略全体・資産配分比率



当運用戦略 株式ポートフォリオ・特性値

組入銘柄数	82
予想1株当たり純利益成長率 (3-5年先、年率)	9.3%
予想株価収益率 (PER、12ヵ月先)	24.8倍

当運用戦略・株式ポートフォリオ・組入上位10銘柄

銘柄名	組入比率	国・地域	セクター
1 マイクロソフト	6.6%	米国	情報技術
2 アマゾン・ドット・コム	4.2%	米国	一般消費財・サービス
3 エヌビディア	3.5%	米国	情報技術
4 ベクトン・ディッキンソン	2.7%	米国	ヘルスケア
5 ローパー・テクノロジーズ	2.6%	米国	情報技術
6 PTC	2.2%	米国	情報技術
7 リビティ	2.0%	米国	ヘルスケア
8 メタ・プラットフォームズ	1.8%	米国	コミュニケーション・サービス
9 アドバンスド・マイクロ・デバイセズ(AMD)	1.7%	米国	情報技術
10 センターポイント・エナジー	1.6%	米国	公益事業

本ページで示した運用実績は、当ファンドが実質的に採用する運用戦略で運用されている米国籍ファンドのものであり、当ファンドのものではありません。また、当ファンドの将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。米国籍ファンドについてはバンクローン、カバード・コールおよび未上場株式等への投資が可能な設計となっているものの、当資料作成時点において当ファンドの投資対象であるマザーファンドに組み入れる予定はありません。

2025年6月末時点。ファクトセットのデータをもとにティール・ロウ・プライスが作成。資産配分比率および株式ポートフォリオの組入比率は対純資産総額の比率です。

*株式には、転換優先証券、優先株式を含みます。

・セクターは世界産業分類基準(GICS)を使用しています。ティール・ロウ・プライスは、将来の報告についてGICSの更新があればそれに従います。GICSの情報は「留意事項」のページをご確認ください。

・上記銘柄は過去の保有状況であり、個別銘柄の売買を推奨するものではなく、価格の上昇や下落、将来の組み入れまたは売却を示唆・保証するものではありません。

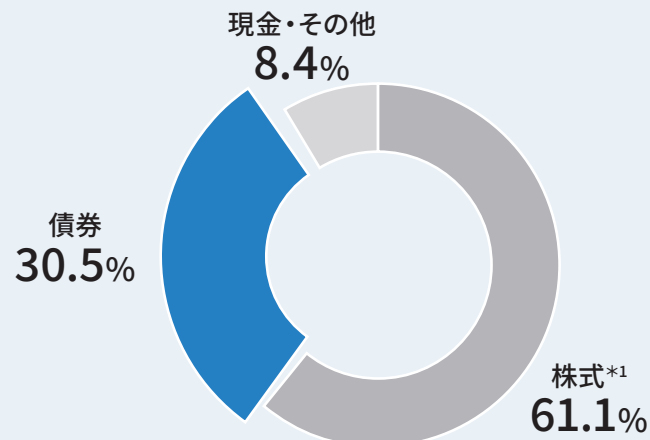
・株式ポートフォリオ・組入上位10銘柄の組入比率は普通株式の比率を表示しています。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。

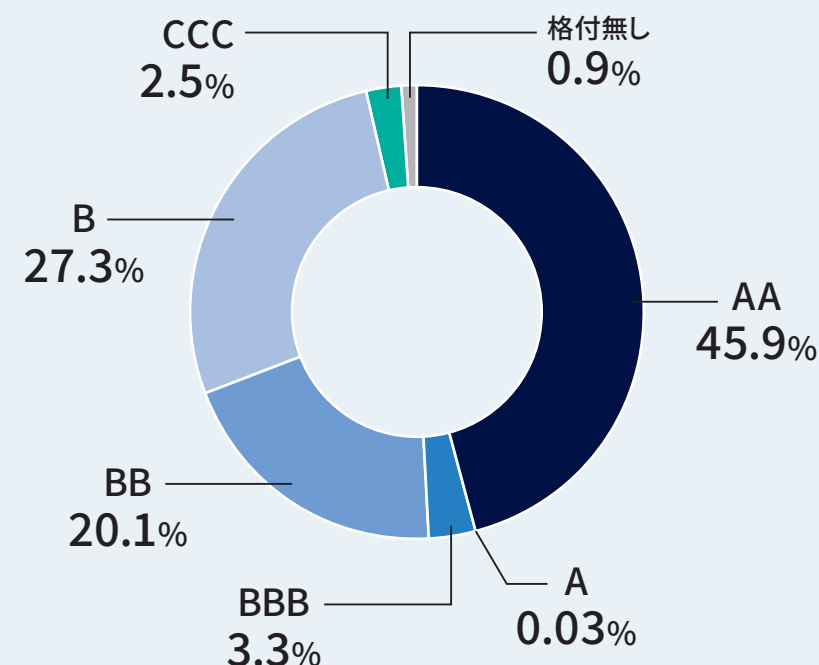
ポートフォリオについて(ポートフォリオ全体および債券ポートフォリオ)



当運用戦略全体・資産配分比率



当運用戦略・債券ポートフォリオ・組入比率(格付別)



当運用戦略 債券ポートフォリオ・特性値

組入銘柄数	113
最終利回り	5.05%
デュレーション*2	2.92
平均格付	A

本ページで示した運用実績は、当ファンドが実質的に採用する運用戦略で運用されている米国籍ファンドのものであり、当ファンドのものではありません。また、当ファンドの将来の投資成果を示唆・保証するものではありません。米国籍ファンドについてはバンクローン、カバード・コールおよび未上場株式等への投資が可能な設計となっているものの、当資料作成時点において当ファンドの投資対象であるマザーファンドに組み入れる予定はありません。

2025年6月末時点。ファクトセットのデータをもとにティール・ロウ・プライスが作成。資産配分比率は対純資産総額の比率です。

*1 株式には、転換優先証券、優先株式を含みます。

*2 デュレーションとは、金利変化に対する債券価格の感応度を示します。デュレーションの値が大きいほど、金利変動に対する債券価格の変動が大きくなる傾向があります。最終利回りで調整した修正デュレーションを表示しています。

・上記のポートフォリオ特性における平均格付とは、作成時点で当運用戦略の米国籍ファンドが保有している債券にかかる信用格付を加重平均したものであり、米国籍ファンドおよび当ファンドにかかる信用格付ではありません。

・格付は、S&P、Moody's、Fitchのうち、最も高い格付を採用し、表示方法はS&Pの分類体系に置き換えています。

・債券ポートフォリオの格付別比率は、当運用戦略を採用する米国籍ファンドの債券ポートフォリオを100%として表示しています。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。

ファンドの特色



1

ティー・ロウ・プライス キャピタル・アプリケーション・マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)への投資を通じて、米国等の企業の普通株式等を中心に、米国等の国債・社債等の債券(ハイ・イールド債券を含みます。)、短期金融資産等にも投資を行い、「ボトム・アップ・アプローチ*」による分析結果や市場動向を考慮して各資産への資産配分比率を調整します。

*ボトム・アップ・アプローチとは、アナリストの個別企業に対する調査や分析等に基づきその企業の投資価値を判断し、個別銘柄を選択する運用手法です。

2

資産毀損リスクの抑制を図りながら、長期的な資産の成長を目指します。

3

銘柄選択に関しては、個別企業分析に基づくボトム・アップ・アプローチを重視した運用を行います。個別企業分析にあたっては、ティー・ロウ・プライス*のアナリストによる独自の企業調査情報を活用します。債券投資においては、発行体の信用力や金利動向等の金融・経済環境も総合的に勘案します。

*委託会社およびその関連会社をいいます。

4

Aコースは、実質外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。
Bコースは、実質外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

※市場動向、資金動向、信託財産の規模等により、上記のような運用ができない場合があります。

※上記は当ファンドの主たる投資対象であるマザーファンドの特色を含みます。



投資リスク



■ 基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。当ファンドが有する主なリスク(ファンドの主たる投資対象であるマザーファンドが有するリスクを含みます。)は以下の通りです。

株式投資リスク

当ファンドが投資対象とする株式(米国預託証券(ADR)等を含みます。)の価格は、発行企業の業績、市場での需給関係、政治・経済・社会情勢等の影響を受けて、ときには大きく変動します。発行企業が経営不安や倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。

債券投資リスク

当ファンドが投資対象とする債券の価格は、一般的に、金利が上昇すると下落します。また、債券への投資に際しては、発行体の債務不履行等の信用リスクを伴います。信用リスクの高低の度合いは、一般的に債券の格付に反映されますが、ハイ・イールド債券等の格付の低い債券は、格付の高い債券と比較して、元利金の支払遅延および支払不履行などが生じるリスクが高くなり、債券価格に反映されます。

為替変動リスク

Aコースは、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。また、為替ヘッジを行う際は、通貨間の金利差相当分のヘッジコストがかかる場合があり、ファンドの基準価額に影響します。Bコースは、原則として対円で為替ヘッジを行わないため、為替変動の影響を直接受けます。したがって、為替相場が円高方向に進んだ場合は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、為替相場は大きく変動する場合があります。

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申込みメモ



購入時	購入単位	販売会社が定める単位とします。
	購入価額	当初申込期間：1口当たり1円(1万口当たり1万円) 継続申込期間：購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
	購入代金	当初申込期間：2025年11月13日までに、お申込みの販売会社にお支払いください。 継続申込期間：販売会社の定める期日までにお支払いください。
換金時	換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
	換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお申込みの販売会社でお支払いします。
申込について	申込締切時間	当初申込期間：販売会社が定める時間とします。 継続申込期間：原則として、午後3時30分までに販売会社が受付けた分を当日のお申込み分とします。 ※販売会社によっては上記と異なる場合がありますので、詳しくは販売会社にお問い合わせください。
	購入の申込期間	当初申込期間：2025年10月20日から2025年11月13日まで 継続申込期間：2025年11月14日から2026年12月24日まで ※継続申込期間は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。
	換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、委託会社の判断により、別途制限を設ける場合があります。
	購入・換金申込不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行の休業日には、お申込みの受付は行いません。 ※スイッチングのお申込みの場合も同様です。
	購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情等があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。 ※スイッチングのお申込みの場合も同様です。 なお、主要投資対象市場の規模・流動性等を勘案し、購入のお申込みの受付を制限することがあります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

その他	信託期間	原則として無期限(設定日:2025年11月14日(予定))
	繰上償還	次のいずれかに該当する場合には、受託会社と合意の上、信託契約を解約し、当該信託を終了(繰上償還)することがあります。 ・各ファンドについて純資産総額が50億円を下回ることとなった場合 ・信託契約を解約することが受益者のため有利であると認める場合 ・信託契約を解約することに正当な理由がある場合
	決算日	毎年3月24日(休業日の場合は翌営業日) ※初回決算日は2026年3月24日の予定です。
	収益分配	年1回の決算時に、分配方針に基づいて分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。 ※販売会社によっては、分配金の再投資が可能です。
	信託金の限度額	各ファンドについて1兆円を上限とします。
	公告	公告を行う場合は日本経済新聞に掲載します。
	運用報告書	毎年3月の決算時および償還時に、期中の運用経過などを記載した交付運用報告書を作成し、販売会社を通じて知れている受益者に対して提供・交付します。
	スイッチング	販売会社によっては、各ファンド間にてスイッチングが可能です。スイッチングの際には、通常の換金時と同様に税金がかかります。 ※スイッチングのお取扱いに関しては、販売会社へお問い合わせください。
	課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。 一定の要件を満たした公募株式投資信託は、税法上、少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」の適用対象となります。 当ファンドはNISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 配当控除の適用はありません。



お申込みメモ(みずほ証券でお申込みの場合)

■ ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
購入時手数料	購入時手数料は購入金額に応じて、以下の手数料率を購入価額に乗じた額になります。 1億円未満 3.30% (税抜3.0%) 1億円以上3億円未満 1.65% (税抜1.5%) 3億円以上 0.55% (税抜0.5%)	運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に対し、 年1.2375% (税抜1.125%) の率を乗じた額が運用管理費用(信託報酬)として毎日計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期の最初の6ヵ月終了日(休業日の場合は翌営業日とします。)および毎計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。
信託財産留保額	ありません。	その他の費用・手数料	信託事務の諸費用等 法定書類等の作成等に要する費用(有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷、交付および提出にかかる費用)、監査費用、計理業務およびこれに付随する業務にかかる費用等は、ファンドの純資産総額に対して年率0.11% (税抜0.1%)を上限とする額が毎日計上され、毎計算期の最初の6ヵ月終了日(休業日の場合は翌営業日とします。)および毎計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。 売買委託手数料等 組入有価証券の売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用等が、ファンドから支払われます。 ※運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。

※上記の手数料・費用等の合計額等については、投資者のみなさまがファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社 ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社

受託会社 三菱UFJ信託銀行株式会社

販売会社 みずほ証券株式会社

留意事項

投資信託および当資料に関する留意点について

- 当資料は、ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性あるいは完全性について保証するものではありません。
- 当資料における見解等は資料作成時点のものであり、将来事前の通知なしに変更されることがあります。また、当資料で示したデータ等は、情報提供を目的として掲載したものであり、将来の投資成果を示唆または保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、お客さまの資産が当初の投資元本を割り込み損失が生じることがあります。
- ご購入の際は投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡ししますので、必ずお受け取りのうえ、内容をよく読み、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は、預金や保険契約ではありません。また、預金保険機構や保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。購入金額については、元本および利回りの保証はありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 著作権はティー・ロウ・プライスに帰属します。「T. ROWE PRICE」、「INVEST WITH CONFIDENCE」および大角羊のデザイン等は、ティー・ロウ・プライス・グループ・インクの商標です。その他全ての商標は、それぞれの所有者の所有財産です。当資料はティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社の書面による同意のない限り他に転載することはできません。

収益分配金に関する留意点

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

世界産業分類基準(GICS)について

- 世界産業分類基準(「GICS」)は、モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル(「MSCI」)およびマグロウ・ヒル・カンパニー傘下のスタンダード・アンド・プアーズ(「S&P」)が開発した独占的財産およびサービスマークであり、ティー・ロウ・プライスにライセンス供与されています。MSCI、S&PまたはGICSの作成、編集もしくはGICS分類

に関する第三者はいずれも、当該基準や分類(またはその利用から得られた結果)について明示的にも暗示的にもいかなる保証や表明もしません。また、すべての関係当事者は、当該基準や分類のいずれについても、その独創性、正確性、網羅性、商品性または特定の目的適合性について、いかなる保証からも明示的に免責されます。前述の内容を制限することなく、MSCI、S&P、その関連会社またはGICSの作成、編集もしくはGICS分類に関する第三者はいずれの場合も、直接的、間接的、特別、懲罰的、結果的またはその他のいかなる損害(逸失利益を含む)について、その発生可能性が通知されていたとしても、いかなる責任も負いません。

モーニングスターについて

- 著作権はモーニングスターに帰属します。当資料に含まれる情報は、(1)モーニングスターおよび情報提供者のものであり、(2)複写や配布を禁じ、(3)情報の正確性、完全性、迅速性は保証されていません。モーニングスターと情報提供者はこの情報の使用により被る損害・損失に対し責任を負いません。
- モーニングスター・メダリスト・レーティング™は、定性面・定量面の評価から将来のパフォーマンスへの確信度を示すデータとして、フィードバック期待アルファがプラスのファンドのうち、上位15%をGold、次の35%をSilver、次の50%をBronzeに分類しています。
- モーニングスター・レーティング™はリスク調整後リターン(の測定基準に基づいて計算されます。モーニングスターは最低3年以上の運用実績を有するファンドについて、モーニングスター・レーティング™(「スター・レーティング」)を算出しています。比較の目的上、ETFやオープン・エンド型のミューチュアル・ファンドは単一のもののみとみなされます。下方変動性や一貫したパフォーマンスをより重視し、対象商品の月次超過収益の変動を考慮したモーニングスターのリスク調整後リターン(の測定基準に基づいて計算されます。上位10%のファンドに5つ星、次の22.5%が4つ星、次の35%が3つ星、次の22.5%が2つ星、下位10%が1つ星となっています。モーニングスター・レーティング™(総合)は、モーニングスター・レーティング™測定法により過去3年、5年、10年(存在する場合)のパフォーマンスの加重平均により算出されています。

当資料で使用している指数・データについて

- S&P500インデックスはS&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社(「SPDJ」)の商品であり、これを利用するライセンスがティー・ロウ・プライスに付与されています。Standard & Poor's®およびS&P®は、Standard & Poor's Financial Services LLC(「S&P」)の登録商標です。Dow Jones®は、Dow Jones Trademark Holdings LLC(「Dow Jones」)の登録商標です。ティー・ロウ・プライスの商品は、SPDJ、Dow Jones、S&P、それらの各関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S&P500インデックスのいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。
- ブルームバーグ・データの出所:「Bloomberg®」及びブルームバーグ・インデックスは、ブルームバーグ・ファイナンスL.P.及びインデックスの管理者であるブルームバーグ・インデックス・サービス・リミテッド(「BISL」)を含む関連会社(総称して「ブルームバー

グ」)のサービスマークであり、特定目的での利用のためティー・ロウ・プライスにライセンス供与されています。ブルームバーグはティー・ロウ・プライスの関連会社ではなく、ティー・ロウ・プライスの商品を承認、支持、レビューまたは推奨するものではありません。ブルームバーグは本商品に関連するデータまたは情報の適時性、正確性または網羅性を保証するものではありません。

- ムーディーズ・アナリティクスのデータの出所:著作権はムーディーズ・コーポレーション、ムーディーズ・インベスターズ・サービス、ムーディーズ・アナリティクス又はそのライセンサー及び関連会社(まとめて「ムーディーズ」)に帰属します。ムーディーズの格付及びその他の情報(「ムーディーズの情報」)はムーディーズ又はそのライセンサーのものであり、著作権及びその他の知的財産関連法によって保護されています。ムーディーズの情報はムーディーズからクライアントにライセンス供与しています。ムーディーズの書面による事前同意なしに、ムーディーズの情報の全部又は一部を複写、複製、再パッケージ化、転送、移転、配布、再配布もしくは再販、又はそれらを目的としてその後利用するために保存することは、その形態、方法、手段を問わず、また誰であれ禁止されます。「Moody's®」は登録商標です。
- 著作権はS&Pグローバル・マーケット・インテリジェンス(及び適宜その関連会社)に帰属します。関係者による書面による事前承諾がない限り、いかなる形式においても、信用格付を含むいずれの情報、データ又は資料(「情報」)の複製は禁じられます。S&P、その関連会社及びサプライヤー(「情報提供者」)は、情報の正確性、適切性、完全性、適時性又は可用性の保証はせず、原因の如何に関わらず誤りや不備(過失その他の如何を問わず)に対する責任を負わず、また情報の利用から生じた結果に対して責任を負いません。情報提供者は、いかなる場合も、情報の利用に関連するいかなる損害、経費、費用、弁護士費用又は損失(損失利益や機会費用を含む)に対して責任を負いません。情報の一部として特定の投資運用や証券、信用格付、又は投資運用に関する所見を参照している場合、それは当該投資運用や証券の売買又は保有を推奨するものではなく、投資運用又は証券の適合性について述べてはならず、投資アドバイスとして依拠されるべきではありません。信用レーティングは意見表明であり、事実表明ではありません。
- 著作権はフィッチ・レーティングス・インク、フィッチ・レーティングス・リミテッド及びその子会社に帰属します。
- 金融データと分析の提供はファクトセット。Copyright 2025 FactSet. すべての権利はファクトセットに帰属します。

外部評価に関する補足説明について

- ※5:リッパー・ベスト・ファンド・アワードの計算期間は36ヵ月、60ヵ月、120ヵ月に及びます。全対象ファンドを上位から区切り、最上位にランクインしたファンド群を「リッパー・リーダー(Lipper Leader)」とし、当該期間終了時点における3年、5年、10年のファンド分類受賞者を決定しており、その他の期間では適用されません。資産クラスおよび総合賞の決定にあたっては、各ポートフォリオにつき1つのシェアクラス(リッパー・リーダー・スコアが最高のもの)のみが採用されます。リッパーの高いレーティングは、当該ファンドが最高の総合パフォーマンスを達成したこと、または当該期間にプラスの結果を得たことを必ずしも意味するものではありません。リッパーのレーティングおよびリッパー・ファンド・アワードは将来の結果を予測するものではありません。

T.RowePrice



ロゴマーク「大角羊」に込めた想い

大角羊(ビッグホーン・シープ)は、様々な環境下で生存可能で、非常に敏捷な動物として知られています。どのような市場環境でも強固なファンダメンタル・リサーチを基礎に、徹底したリスク管理を行うことで投資家のみなさまに長期的に安定したパフォーマンスをお届けすることを誓う弊社からのメッセージを表しています。

お申込み・投資信託説明書
(交付目論見書)のご請求は

MIZUHO みずほ証券

商号等：みずほ証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第94号
加入協会：日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／
一般社団法人金融先物取引業協会／一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用は



T.RowePrice

商号等：ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3043号
加入協会：一般社団法人日本投資顧問業協会／一般社団法人投資信託協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会